

学生番号	13232091	氏名	吉村 彩華
論文題目	飯塚市中心市街地活性化のための情報発信システムの開発		

1. はじめに

現在の日本の人口はおおよそ 1 億 2000 万人だが、日本の将来人口は減少すると推測される[1]。都市部では今もなお人口が増加している地域も見られるが、その反面、地方では人口の流出が多く都市部と大きな差がみられる。飯塚市も人口の流出が多い地域の一つである。

飯塚市にある九州工業大学の学生でさえ飯塚市中心市街地の魅力を知らずに大学 4 年間を過ごしていく人が多くいる。その原因として挙げられるのが飯塚市中心市街地からの情報発信をしていないことがあげられる。飯塚市中心市街地にはホームページはあるが、10 年近く更新をされていなかった。そこで本研究の目的としては飯塚市中心市街地について学生や若者によく知ってもらう場を提供するために飯塚市中心市街地の魅力を発信するための情報システムの開発を行う。

2. システムの開発

飯塚市の中心市街地の情報を配信していくための情報システムの開発していくために九州工業大学生と子育て世代に対して、飯塚市中心市街地についてのヒアリングやアンケートを行った。その結果、九州工業大学生は中心市街地に行っていない人が半数以上いた。若者世代でも商店街で何があるか知らない人が多くいた。また、飯塚市商店街のホームページに何のページがあったら見るかという質問では「飲食店情報」の回答が最も多く、子育て世代では「イベント情報」という声も多かった。

ホームページ開発するにあたって、事前調査をうけて「飲食店情報」と「イベント情報」の情報を盛り込んだホームページを作成した。利便性向上のために飲食店情報ではユーザーのニーズに合わせた飲食店をヒットさせるようにした。これらの実装するにあたって HTML や JavaScript を利用してプログラミングを行った。実装したタグ付、検索機能を図 1 に示す。

作成した HP では、今後も飯塚市中心市街地の店主の方々にも更新できるように、HTML などの知識がなくてもブログ感覚で HP の更新ができる WordPress を採用した。

ホームページを作成したが、アクセス数が伸びないので商店街で行われたイベントにおいて、イベントのチラシにホームページの QR コードを掲

載した。そのチラシやポスターを九州工業大学の学内や、商店街の店舗に掲示をした。また、新聞社にプレスリリースを行い、新聞に掲載された。

ほかにも、SEO (Search Engine Optimization) を実践し、新しく商店街駐車場マップというものを掲載した。また、今後のグローバル社会に向けて、言語を英語も選択できるようにコンテンツの充実を目指した。その画面を図 2 に示す。他にも、グーグルマップにピン立てをして、店舗がどこにあるのか一目でわかるようにした。その結果検索結果が 8 番目から 3 番目になった。



図 1 居酒屋タグ付検索機能



図 2 英語版ホームページ

3. まとめ

飯塚市中心市街地活性化のためにアンケートを実施しアンケートの結果をもとにホームページを作成した。完成したホームページだが、SEOを利用して更に上位検索結果に表示する必要がある。

4. 参考文献

[1] 国立社会保障・人口問題研究所 人口統計資料集 <http://www.ipss.go.jp/>